

平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年8月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社大塚家具

コード番号 8186

URL <http://www.idc-otsuka.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大塚 久美子

問合せ先責任者 (役職名) 総合プランニング部長

(氏名) 豊吉 真美 (TEL) 03-5530-5566

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	28,475	2.5	543	△19.8	665	△15.1	559	21.8
24年12月期第2四半期	27,788	4.4	678	146.8	783	104.0	459	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
25年12月期第2四半期	30.18		—					
24年12月期第2四半期	24.30		—					

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭	円 銭	
25年12月期第2四半期	45,974	75.5	34,703	75.5	1,872.29	1,872.29	1,872.29	
24年12月期	41,725	78.6	32,799	78.6	1,769.52	1,769.52	1,769.52	

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 34,703百万円 24年12月期 32,799百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	40.00	40.00
25年12月期	—	0.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	57,000	4.5	1,200	1.4	1,353	2.7	1,000	56.2	53.95	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年12月期2Q	19,400,000株	24年12月期	19,400,000株
25年12月期2Q	864,414株	24年12月期	864,414株
25年12月期2Q	18,535,586株	24年12月期2Q	18,899,922株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	8
(1) 商品分類別売上高	8
(2) 店舗、コントラクトその他売上高	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間は、後半にかけて景気の持ち直しが見られ、個人消費も底堅く推移しました。

このような環境のもと、当社は、成長に向けた事業戦略の展開、とりわけ、その要となるブランドイメージ再構築のための諸施策と商品開発に取り組みました。

ブランドイメージの再構築につきましては、従来の販売促進に重きを置いたマス向け広告から、インターネット・テレビ・雑誌等多様なメディアを活用するPRを重視した活動へとシフトし、当社がお客様に提供できる価値の客観的かつ多角的な伝達に注力しました。

また、各種広告媒体と並んでブランドイメージ再構築に向けて重要なコミュニケーション媒体となり得る主要店舗を、よりアピール度の高い体験型・提案型の新店舗モデルに転換するための各種リニューアルを継続し、快適なSOHO空間を提案する「SOHO Museum」を新宿ショールームに、また、眠りに関するすべてを揃えた専門店「Good Sleep Factory」を新宿・有明本社ショールームにそれぞれ3月にオープンし、お客様の多様なニーズにお応えできる売り場を実現しました。6月に有明本社ショールームにオープンした照明専門店「Lightarium(ライタリウム)」には、社外の建築士やコーディネーターが情報収集・プランニング・顧客との打合せなどビジネスユースに利用できるビジネスセンターを併設するなど、外部プロフェッショナルの当社商品・ショールームの活用を促進する取り組みにも着手しました。また、新規住宅購入予定者のインテリア計画をサポートする「新築ハンドブック」の発行など、消費税増税前の住宅市場動向を見据えた販売促進活動も開始しました。並行して、ECサイトと連動する、新ブランドPRのための路面店型PRスペースを東京都内目黒・青山にそれぞれ新設しました。

商品開発につきましては、欧州においてはすでに主流となっている金属コイルを使用しないノンコイルマットレスや著名デザイナーとのコラボレーションによる新ブランド投入、円安傾向を受けた商品構成の見直しなどに取り組みました。なお、為替変動は原則として価格転嫁するという基本方針に則り、輸入商品の販売価格の引上げを一部商品から開始しました。

こうした取り組みの結果、商品分類別では、新築需要と関連の深い応接家具が63億39百万円(前年同期比6.1%増)、買い替え需要と関連の深い寝具が76億17百万円(前年同期比0.3%増)となりました。

以上の結果、売上高は284億75百万円(前年同期比2.5%増)となりました。主な内訳は、店舗が280億54百万円(前年同期比2.1%増)、コントラクトはマーケット環境の好転が寄与し、3億87百万円(前年同期比39.3%増)となりました。売上総利益は、157億52百万円(前年同期比0.4%増)となりました。販売費及び一般管理費は、広告宣伝・販売促進費への積極的な投入などにより152億8百万円(前年同期比1.3%増)、営業利益は5億43百万円(前年同期比19.8%減)、経常利益は6億65百万円(前年同期比15.1%減)となりました。四半期純利益につきましては、家賃交渉に伴う解決金3億10百万円の計上等により、5億59百万円(前年同期比21.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

1. 資産、負債及び純資産の状況

① 資産

当第2四半期会計期間末における総資産は459億74百万円となり、前事業年度末と比較して42億49百万円(10.2%)の増加となりました。

これは主に、現金及び預金の増加4億2百万円、受取手形及び売掛金の増加2億90百万円、商品の増加5億88百万円、投資有価証券の増加31億82百万円によるものです。

② 負債

当第2四半期会計期間末における負債は112億70百万円となり、前事業年度末と比較して23億44百万円(26.3%)の増加となりました。

これは主に、支払手形及び買掛金の減少1億35百万円、未払法人税等の増加1億円、その他流動負債の増加11億73百万円、その他固定負債の増加12億円によるものです。

③ 純資産

当第2四半期会計期間末における純資産は347億3百万円となり、前事業年度末と比較して19億4百万円(5.8%)の増加となりました。

これは主に、四半期純利益による利益剰余金の増加5億59百万円、配当による利益剰余金の減少7億41百万円、その他有価証券評価差額金の増加20億86百万円によるものです。

自己資本比率は前事業年度末と比較して3.1ポイント低下し75.5%となりました。

2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末と比べ4億2百万円増加し、当第2四半期会計期間末は77億23百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりです。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は13億2百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益が9億39百万円計上されたことに加え、売上債権の増加額2億90百万円、たな卸資産の増加額6億3百万円、仕入債務の減少額1億35百万円、前受金の増加額7億99百万円によるものです。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により支出した資金は1億59百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出78百万円、無形固定資産の取得による支出51百万円によるものです。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により支出した資金は7億40百万円となりました。これは配当金の支払いによるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期業績予想につきましては、第2四半期累計期間の業績を踏まえ、売上高570億円(前回予想比一)、営業利益は12億円(前回予想比4.5%減)、経常利益は13億53百万円(前回予想比2.3%減)、当期純利益は10億円(前回予想比26.9%増)へと修正いたしました。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,320,872	7,723,100
受取手形及び売掛金	2,956,378	3,246,581
商品	13,570,778	14,159,609
未収還付法人税等	6,824	—
その他	1,481,882	1,297,721
貸倒引当金	△1,840	△2,020
流動資産合計	25,334,895	26,424,992
固定資産		
有形固定資産	2,937,172	2,912,554
無形固定資産	100,666	107,790
投資その他の資産		
投資有価証券	7,039,207	10,222,129
差入保証金	6,130,571	6,118,858
その他	190,990	196,555
貸倒引当金	△8,131	△8,131
投資その他の資産合計	13,352,638	16,529,412
固定資産合計	16,390,477	19,549,757
資産合計	41,725,373	45,974,750
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,518,448	3,382,461
未払法人税等	81,849	182,356
賞与引当金	99,614	81,519
販売促進引当金	37,553	38,570
その他	4,111,887	5,284,938
流動負債合計	7,849,353	8,969,846
固定負債		
役員退職慰労引当金	466,801	474,646
資産除去債務	328,766	344,723
その他	281,345	1,481,629
固定負債合計	1,076,913	2,300,999
負債合計	8,926,267	11,270,845
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,080,000	1,080,000
資本剰余金	3,690,470	3,690,470
利益剰余金	28,144,304	27,962,348
自己株式	△800,855	△800,855
株主資本合計	32,113,918	31,931,963
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	685,187	2,771,941
評価・換算差額等合計	685,187	2,771,941
純資産合計	32,799,105	34,703,904
負債純資産合計	41,725,373	45,974,750

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	27,788,759	28,475,676
売上原価	12,100,620	12,723,558
売上総利益	15,688,138	15,752,117
販売費及び一般管理費	15,009,928	15,208,372
営業利益	678,209	543,745
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	64,783	72,084
保険配当金	50,900	45,545
その他	22,078	11,780
営業外収益合計	137,763	129,411
営業外費用		
保証金支払利息	1,617	1,266
固定資産除却損	24,335	1,483
為替差損	—	4,771
その他	6,221	308
営業外費用合計	32,174	7,829
経常利益	783,799	665,327
特別利益		
受取和解金	—	310,500
特別利益合計	—	310,500
特別損失		
減損損失	4,089	36,222
特別損失合計	4,089	36,222
税引前四半期純利益	779,710	939,605
法人税、住民税及び事業税	15,039	134,913
法人税等調整額	305,459	245,224
法人税等合計	320,498	380,137
四半期純利益	459,211	559,467

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	779,710	939,605
減価償却費	119,639	108,502
差入保証金償却額	7,245	7,308
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△30	180
賞与引当金の増減額(△は減少)	△29,287	△18,095
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8,450	7,845
販売促進引当金の増減額(△は減少)	715	1,016
減損損失	4,089	36,222
固定資産除却損	24,335	1,483
受取利息及び受取配当金	△64,784	△72,085
売上債権の増減額(△は増加)	409,444	△290,202
たな卸資産の増減額(△は増加)	△254,254	△603,390
その他の流動資産の増減額(△は増加)	8,629	60,273
仕入債務の増減額(△は減少)	△353,068	△135,987
前受金の増減額(△は減少)	455,282	799,847
その他の流動負債の増減額(△は減少)	311,432	408,355
その他	9,121	8,438
小計	1,436,669	1,259,318
利息及び配当金の受取額	64,784	72,085
法人税等の支払額	△35,280	△35,994
法人税等の還付額	5,490	6,824
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,471,665	1,302,234
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△71,070	△78,007
無形固定資産の取得による支出	△11,765	△51,883
差入保証金の差入による支出	△100	△11,568
差入保証金の回収による収入	539,923	1,892
その他	△31,292	△19,903
投資活動によるキャッシュ・フロー	425,693	△159,471
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△774,799	△740,535
自己株式の取得による支出	△799,962	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,574,761	△740,535
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	322,596	402,227
現金及び現金同等物の期首残高	7,123,522	7,320,872
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,446,119	7,723,100

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社の報告セグメントは、家具販売事業のみであり、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 商品分類別売上高

区分	前第2四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	前年同期比 (%)
	金額(千円)	金額(千円)	
家具			
収納家具	745,031	643,250	86.3
和家具	115,398	108,830	94.3
応接	5,975,333	6,339,642	106.1
リビングボード	1,557,589	1,556,191	99.9
学習・事務	1,571,652	1,523,665	96.9
ダイニング	5,406,624	5,581,777	103.2
ジュータン・カーテン	2,329,373	2,493,475	107.0
寝具	7,594,177	7,617,234	100.3
電気・住器	947,550	1,019,934	107.6
単品	886,638	822,762	92.8
リトグラフ・絵画	11,300	12,104	107.1
その他	616,149	727,292	118.0
売上高	27,756,820	28,446,163	102.5
不動産賃貸収入	31,938	29,512	92.4
合計	27,788,759	28,475,676	102.5

(2) 店舗、コントラクトその他売上高

区分	前第2四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	前年同期比 (%)
	金額(千円)	金額(千円)	
店舗	27,475,516	28,054,931	102.1
コントラクト	277,918	387,163	139.3
その他	35,323	33,580	95.1
合計	27,788,759	28,475,676	102.5